

第122回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	受	取	手	形	売	掛	金
前	払	金	立	替	金	未	収	入	金	仮
貸	付	金	車		両	支	払	手	形	買
前	受	金	預	り	金	未	払	金	仮	受
借	入	金	車	両減価償却累計額		引	出	金	仕	入
減	価	償	却	費	発	送	費	租	税	公
固	定	資	産	売	却	損	上	受	取	利
										息
										固
										定
										資
										産
										売
										却
										益

1. 店舗兼住居用の建物と土地に係る固定資産税 ¥ 200,000 と、店主の所得税 ¥ 150,000 を現金で納付した。なお、固定資産税のうち 20%については店主個人住居部分に対してである。
2. 得意先足利商店に対して期間 6 か月、年利率 4%で ¥ 300,000 を貸し付けていたが、本日、満期日のため利息とともに同店振出しの小切手で返済を受け、ただちに当座預金に預け入れた。なお、現在、当座預金は ¥ 100,000 の借越となっている。
3. 仕入先細川商店から商品 ¥ 500,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 300,000 については京極商店振出し、当店受け取りの約束手形を裏書譲渡し、残額については細川商店を名宛人とする約束手形を振り出して支払った。なお、引取運賃 ¥ 5,000 については現金で支払った。
4. 得意先朽木商店に商品 ¥ 700,000 を売り渡し、代金のうち ¥ 200,000 はすでに受け取っていた手付金と相殺し、残額については脇坂商店振出し、朽木商店受取りの約束手形の裏書譲渡を受けた。なお、当店負担の発送運賃 ¥ 6,000 については現金で支払った。
5. 平成 15 年 7 月 1 日に取得した車両（取得原価 ¥ 2,000,000 、残存価額 ¥ 200,000 、耐用年数 6 年、減価償却方法は定額法・間接法で処理）を平成 20 年 8 月 31 日に ¥ 400,000 で売却し、売却代金については翌月の 15 日に受け取ることにした。なお、当社の決算日は 12 月 31 日で、減価償却については月割り計算による。